

小・中学生の通学費負担は「公平・公正」にすべき

12年前に議員になってから一貫して追求してきたのが、公共交通・市バス等を利用して小・中学校に通う子どもの通学費の保護者負担をなくすことです。

当初は就学援助制度の利用者だけ無料でしたが、5年前に小・中学生の兄弟があれば1人分だけの負担でよいと改善させました。しかし、その後、東山の小中一貫校の子どもには、京都市が市バスの特別な運行を行い、無料の定期券を小・中学生に交付しています。

「義務教育は無償」との原則からも、明親小学校、大淀中学校の児童・生徒の保護者負担をなくすために、がんばりたいと思います。

平成27年度（9月現在）

小学校 明親小学校34名 ▶補助額15万3千円

東山開晴館小中学校の児童・生徒への通学費補助
3ヵ月定期を4期に分けて支給
平成26年度決算額 800万9千円(165人分)

マンション建設をめぐるトラブル… 京都市は行政としての責任を果たせ

マンションの建設予定地の隣に住む方から、「ひび割れで地盤沈下が出てきた」との通報がありました。夏前から、建設事業者と地元の町内会の方々が交渉し協定書ができていましたが、その結果がこれでは、業者の責任が問われます。

「京都市に電話したら『民、民の問題だから裁判で決着を』との返答で、『何のための行政か』と怒ってしまった」と、地域の代表から怒りの声が寄せられました。

京都市に申し入れ、業者に地質調査を約束・実行させる

協定書では「誠実に問題解決に話し合う」となっており、京都市が行政としての役割をしっかり果たすよう、一緒に担当局に申し入れました。その後、対策委員会の代表や被害者とともに業者と交渉し、「地質調査を行って業者としての責任を果たす」ことを文書で確認させ、実行させました。



市政を動かす
たしかな力

日本共産党京都市議会議員
赤阪仁

9月市議会報告

http://homepage3.nifty.com/akasaka/

pea05142@nifty.com

広島
の
原水禁世界大会に
参加しました



8月6日、広島の前水禁世界大会で「核兵器と原発」分科会に参加しました。福島から避難しているお母さんが「来年度に家族の支援が打ち切られることは許せない」と訴えられました。

先日の委員会では、私も「国の支援打ち切りを許さず、京都市が国や府に対し意見を言うべき。京都市独自でも支援を続けよ」と追及したところです。

「僕たちの未来に無責任な政治は許せない」と福島の小学生が発言

続いて登壇した小学6年生の男の子が、避難生活の中で受けた差別や家族の苦しみを語りました。そして、「生活支援の打ち切りは、誰も僕たちの未来に責任を果たさないということか」と力強く発言し、参加者の感動をよびました。



▲原水禁世界大会・広島に参加（8月6日）

どんなお困りごとでもお寄せ下さい!➡

伏見生活相談所 TEL.621-6717
日本共産党伏見地区委員会 TEL.611-9135